

## ワンヘルスマスター育成プログラムが開催されました



本年度から福岡県は新事業として「ワンヘルスマスター育成プログラム」を開始しました。「ワンヘルスマスター育成プログラム」は全7回のプログラムがあり、座学(人獣共通感染症や人と動物の共生社会づくりなど)や、体験(動物とのふれあい体験や見学など)が行われます。

プログラムを修了し、マスターの認定を受けた方は地域での学習会などで講師として、啓発活動に取り組むこととなっています。

令和5年10月4日(水)、福岡県立四王寺県民の森、福岡県馬術競技場にて「育成プログラム」が開催されました。

### 〈ワンヘルスマスターとは…〉

ワンヘルスの基本(理念、歴史、現状)から実践的なワンヘルスの取り組み例まで教えることができ、積極的にワンヘルスの啓発活動を行う人です。





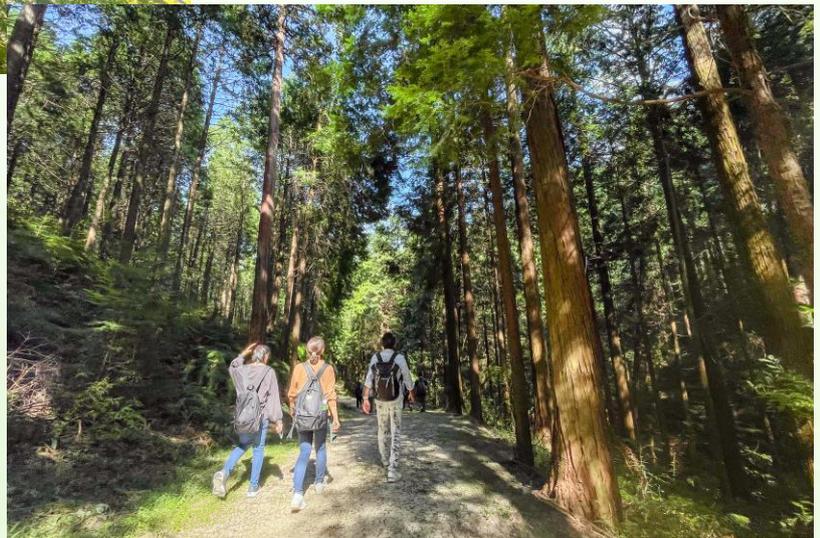
### ◎福岡県立四王寺県民の森

1976年にオープンした「四王寺県民の森」は、福岡市の南東19kmの所にあり、大野城市、太宰府市、粕屋郡宇美町にまたがる四王寺山(PayPay ドーム約50個分)は、自然林や人口林におおわれており、春の花、初夏の緑、秋の紅葉など森の四季を感じながら森林浴を楽しむことができます。

福岡県立四王寺県民の森では、管理事務所の内藤芳樹所長による「森林浴体験とワンヘルスの森」についての講演とワンヘルスの森ミュージアムの見学が実施されました。



その後、ワンヘルスの森にて、「五感を感じる」をテーマにワンヘルスガイドツアーが行われました。





### ◎福岡県馬術競技場

平成2年に福岡県で開催された国民体育大会(とびうめ国体)の馬術競技会場として整備され、これまで馬術大会等多くの方々に利用されています。

また、当施設は、馬場馬術競技場、屋内馬術競技場(覆い馬場)、障害馬術競技場のほか、管理棟、厩舎、審判棟、研修室、会議室等を有する施設です。

福岡県馬術競技場では、西九州大学子ども学部心理カウンセリング学科の利光恵准教授による「アニマルセラピー」について講演と馬とのふれあい体験を行い、プログラムが終了しました。

